

問題の山積する飛び地合併を 住民意向調査なく短期間に結論

1月23日県知事選挙と同時に、池田町と美濃市で合併に関する住民投票が行われ、住民は合併にNOを選択しました。大垣市と1市9町の大型合併でも、住民投票なり議会の声が反映され合併協から離脱していますが、なんらの住民意向調査がされていない、墨俣町と上石津町との間で12月に合併研究会協を立ち上げ、2月に臨時議会を開き合併協議会を立ち上げ、3月に合併の結論をだそうと強引にすすめています。

上石津町、墨俣町ともその財源の多くを地方交付税にたよりにたよっています。上石津町では過疎地であるのかかわらず下水道事業を行い多額の負債を抱え、その上に「南濃衛生施設利用事務組合」からの脱退にともなう分担金の違約金の支払いになるかもしれない問題を抱えています。墨俣町には下水道施設がありません。隣接する安八町との処理場に接続する問題をかかえています。このように問題の多い合併に与党内から反対意見が出ましたが賛成多数で合併研究会を立ち上げました。

「合併に伴う課題」と問題点その1

①下水道事業について

大垣市の下水道事業は主に都市計画税を財源に進められていますが、上石津町は都市計画区域がなく、「下水道処理施設などの維持管理及び起債償還（起債残高33億円）などにかかる経費はすべて下水道使用料及び一般会計繰り出し金（毎年2億300万円）で対応しなければならない」とし「大垣市のバランスを考慮した下水道使用料に改定する必要」があるとしています。当面は、下水道使用料は大垣市の約2倍である現行通りとする調整案が提案されています。

墨俣町の下水道事業は大垣市の基準で進められるとのことですが、処理場については隣接する安八町の処理場に接続することで現在継続協議になっています。

「合併に伴う課題」と問題点その2

②可燃ごみ・し尿処理業務について

上石津町は南濃衛生施設利用組合に加入し可燃ごみ・し尿処理を行ってきましたが、合併後脱退し大垣市のクリーンセンターや大垣衛生施設組合で処理する案になっています。しかし、南濃衛生施設利用組合では新しいゴミ処理施設の建設を進めており、上石津町の負担金9億100万円をどう扱うのか、脱退に際し議論の対象になると予想されます。

「合併に伴う課題」と問題点その3

③消防業務について

今まで、上石津町は消防業務を養老町に委託していましたが、合併後も委託する方向で協議することになっています。

合併では「子育て日本一」にはならない

保育料について、大垣市が最高額54000円と1番高く、幼児を持つ親の間では「子育て日本一」に期待していた人もいましたが、この合併では「5年間で統一するよう調整する」となっているだけで、どのように調整するのかまだわかりません。

住民意向調査を行い「民意」を問え!

1市2町の飛び地合併については、2町はもとより大垣市民にとっても何らメリットはなく、何故無理をしてまで合併を行うのかその必然性は見られません。誰の目から見ても無理な飛び地合併について、少なくとも住民の意思を問う住民意向調査は行うのが未来の大垣市民に対する私たちの責任と考えます。

4月3日告示、4月10日投票の予定で大垣市長選挙が行われます。皆さんと力を合わせ、市政の流を変えようではありませんか。

大垣市政に関する要望
ご意見をお寄せください。

連絡先

☆ 大垣市場部屋町41 日本共産事務所

TEL 74-3449 Fax 73-8572

☆ 菅田トヨ子議員宅

TEL 81-1383